

次 號 豫 告

精撰せる材料愈豊富にして趣味愈深し。次號より家庭欄には新に

永瀬醫學士の看護法

を續載すべく、學術欄には

擊水生

の英語俚諺解

の外新に

佐藤東京府師範學校教諭の百合の談

東海生のうどんげの花

を加ふべく講義には

中村女子高等師範學校

教授の育兒法

の外更に本號より掲載し始めたる

松本文學士の兒童研究法

を續載すべく

町田同校教授

の臺灣の昔話は本號に完結して更に説林欄に

子供の遊嬉の話

を出ださるべく、其他の各欄例によりて益賑な

り。尙讀者諸君より有益なる寄稿論說等机上に堆積せしもの一々之を掲載するを得ず、爲めに寄稿者諸君の意に反くこと大なりしが、次號よりは更に

「寄 書」

の一欄を増し、以て之等金玉の文字を集め載せんとす。幾多の光彩は更に之によりて大に加はらん。希くは讀者諸君諸姉女子教育家庭教育幼兒保育等に關して平素諸君諸姉の懷胞せる所を大に世間に向つて發表せられよ。